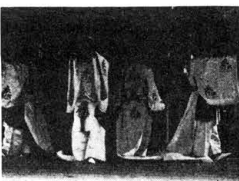
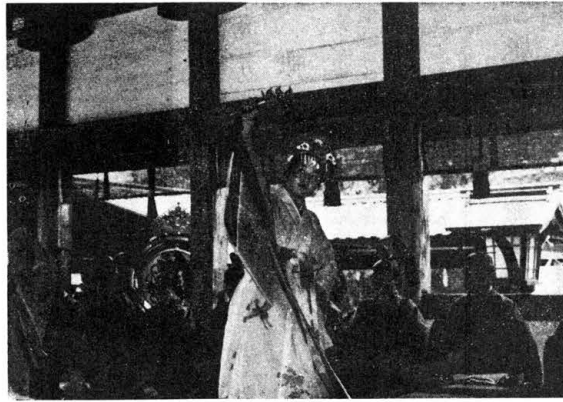




宗像大社 毎月十五日発行 所定価格 一年送料共 1000円

春季大祭齋行(保存会)

春雨に流れる雅楽の調べ



春季大祭は、桜花の香もあつた三月三十一日の四月十日までの三日間にわたり、郡民の崇敬者、各地の篤信多数参加の下賑かに行なわれた。この春季大祭は、当大社の例年祭を明治二十一年に祭祭として再興し、旧暦の二月十六日の新祭を明治二十一年に祭祭として再興し、これを臨時改め、四月十一日より十日までの三日間にわたり中祭式を執行したのが始まりとされている。昭和三年、今上陛下即位大祭の際、早

三月十一日、雨の中、午後五時、総社地主祭、引き続き宵祭祭。同時に、沖津宮神楽、古くは、鎮守寺洗心公園の花見と併せて大に賑ったものもあった。戦後、四月一日、同日二日を祭日として大祭式を以て行なうことになって、今日に至るまでである。

三月十一日、雨の中、午後五時、総社地主祭、引き続き宵祭祭。同時に、沖津宮神楽、古くは、鎮守寺洗心公園の花見と併せて大に賑ったものもあった。戦後、四月一日、同日二日を祭日として大祭式を以て行なうことになって、今日に至るまでである。

三月十一日、雨の中、午後五時、総社地主祭、引き続き宵祭祭。同時に、沖津宮神楽、古くは、鎮守寺洗心公園の花見と併せて大に賑ったものもあった。戦後、四月一日、同日二日を祭日として大祭式を以て行なうことになって、今日に至るまでである。

三月十一日、雨の中、午後五時、総社地主祭、引き続き宵祭祭。同時に、沖津宮神楽、古くは、鎮守寺洗心公園の花見と併せて大に賑ったものもあった。戦後、四月一日、同日二日を祭日として大祭式を以て行なうことになって、今日に至るまでである。

三月十一日、雨の中、午後五時、総社地主祭、引き続き宵祭祭。同時に、沖津宮神楽、古くは、鎮守寺洗心公園の花見と併せて大に賑ったものもあった。戦後、四月一日、同日二日を祭日として大祭式を以て行なうことになって、今日に至るまでである。

三月十一日、雨の中、午後五時、総社地主祭、引き続き宵祭祭。同時に、沖津宮神楽、古くは、鎮守寺洗心公園の花見と併せて大に賑ったものもあった。戦後、四月一日、同日二日を祭日として大祭式を以て行なうことになって、今日に至るまでである。

三月十一日、雨の中、午後五時、総社地主祭、引き続き宵祭祭。同時に、沖津宮神楽、古くは、鎮守寺洗心公園の花見と併せて大に賑ったものもあった。戦後、四月一日、同日二日を祭日として大祭式を以て行なうことになって、今日に至るまでである。

三月十一日、雨の中、午後五時、総社地主祭、引き続き宵祭祭。同時に、沖津宮神楽、古くは、鎮守寺洗心公園の花見と併せて大に賑ったものもあった。戦後、四月一日、同日二日を祭日として大祭式を以て行なうことになって、今日に至るまでである。

三月十一日、雨の中、午後五時、総社地主祭、引き続き宵祭祭。同時に、沖津宮神楽、古くは、鎮守寺洗心公園の花見と併せて大に賑ったものもあった。戦後、四月一日、同日二日を祭日として大祭式を以て行なうことになって、今日に至るまでである。

三月十一日、雨の中、午後五時、総社地主祭、引き続き宵祭祭。同時に、沖津宮神楽、古くは、鎮守寺洗心公園の花見と併せて大に賑ったものもあった。戦後、四月一日、同日二日を祭日として大祭式を以て行なうことになって、今日に至るまでである。

三月十一日、雨の中、午後五時、総社地主祭、引き続き宵祭祭。同時に、沖津宮神楽、古くは、鎮守寺洗心公園の花見と併せて大に賑ったものもあった。戦後、四月一日、同日二日を祭日として大祭式を以て行なうことになって、今日に至るまでである。

神具、装束 結納式場用品 九州店 本社 電話 京都下京区...

宗像大社 毎月十五日発行 所定価格 一年送料共 1000円

宗像大社 毎月十五日発行 所定価格 一年送料共 1000円

宗像大社 毎月十五日発行 所定価格 一年送料共 1000円

宗像大社 毎月十五日発行 所定価格 一年送料共 1000円

論説 君子は輸贏を避く

孔孟中国の近代的革命観

世界各國とも教条主義からの解放を望み、只今対外には國權問題に力点を置き、内政には活水準向上のための重労働の解決を期している。とりわけ、中国に於いては、指導者の伝統的価値観が常に作用している。注目すべきは、

革命の成否をかけた社会構造の改革は、上部構造的に指導グループの伝統的価値観が保持されて、下部構造の理解則は漸次となる。君子は、やむを得ず外向的となり、軍事戦略に於ける防衛志向と攻勢志向の針を定めていく。現に毛沢東主義を同様「真」の字を御小平副首相のグループは、他の毛澤東の理解と正相反するものも少なくない。君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。

君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。

君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。君子は輸贏を避く。

阿蒙少言

阿蒙少言

阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。

阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。

阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。

阿蒙少言

阿蒙少言

阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。

阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。

阿蒙少言

阿蒙少言

阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。

阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。

阿蒙少言

阿蒙少言

阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。

阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。

阿蒙少言

阿蒙少言

阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。

阿蒙少言

阿蒙少言

阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。阿蒙少言。



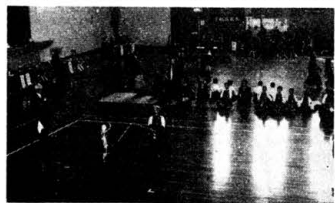
第三回 宗像大社歌会詠草 毎月一日/切 詠草到着順

宗像大社歌会詠草. 名古屋 野崎 傳三 福間 二宮 末子. 津屋崎 内田 久美子 田熊 直志. 津屋崎 内田 久美子 田熊 直志. 津屋崎 内田 久美子 田熊 直志.

桜下の御社頭

神賑行事盛大に斎行

春季奉納剣道大会



宗像大社奉納神賑行事の恒例奉納剣道大会は、一日午前九時...

五月祭典行事案内

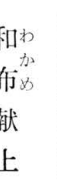
- 辺津宮 一日 午前十二時
一日 午前十二時
五日 午前十時 十二時
五月祭 (五月忌) 五日 午前十一時

奉納吟詠大会



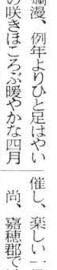
宗像大社奉納神賑行事である奉納吟詠大会は四月二日...

和布献上者表彰



去る四月二日、春季大祭第百回神賑行事後、本年度の皇室へ献上...

神湊区丑寅会参拝



春福満、例年おひき足はやく桜花の咲きほころぶや四月四日...

水軍 (その四)

二日後、明継は才市... 明継は、つもの眼を見せは...



神湊 (95)

神湊

桶 早鳥 作
福田長庵 画

南方流 献茶奉納式
春季大祭「百祭の日」例の行事として、春の大祭 献茶...

旅客船と輸送船
単にこの問題を「現代」な事柄の調査に専ら調査家の...

残筆しがらみ草紙 玄陽 隠士
いて述べたのは戦時の兵を海外で遊撃する一人は、...

残筆しがらみ草紙 玄陽 隠士
いて述べたのは戦時の兵を海外で遊撃する一人は、...

水軍 (その四)
二日後、明継は才市... 明継は、つもの眼を見せは...

水軍 (その四)
二日後、明継は才市... 明継は、つもの眼を見せは...

昭和五十四年度

氏子總代会開催

新役員決定

昭和五十四年度最後の氏子總代会が去る二十四日午前十一時...

宗像大社獎学生決定

新獎学生を含め四十四名に授与

昭和五十四年度

宗像大社獎学生決定

新獎学生を含め四十四名に授与

宗像大社が制定している宗像大社獎学生...

信仰

宗像大社は、昭和二十九年四月二十九日...

- 新獎学生
城山中学校 一丸志子(東海第五高専)
中央中学校 立石昇(宗像高専)

宗像大社職員
新勤務編成決まる
昭和五十二年四月一日で、新勤務編成が記の通り発令された。

宗像大社職員
新勤務編成決まる
宗像大社職員
新任紹介

社務日誌抄

三月一日 月夜、午前十一時。出光興産(株)北出製鋼所...

新任紹介
今年四月より当大社に入社されたヒツカビカの新入生を歓迎いたします。

宗像大社職員
新任紹介
宗像大社職員
新任紹介

宗像大社職員
新任紹介
宗像大社職員
新任紹介

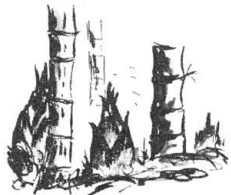
宗像大社歌会 俳句作品集(三〇七)

名古屋 野崎一傳三
ひなの軸かけて白酒の手酌かな
福岡 広渡一寿軒
奮奮し我れ雑念を払いけり
久留米 入江 柳江
梅口水車休ませ岩の里

田 島 吉武 武雄
貴踏む奈良高野の行楽に
田 照 力丸 一彪
春光にたちて奈思ふかな

田 熊 安部 ゆき
わへ歌広き天地や青き路も
津屋崎 英 綺子
八重葎林翠に七重の鯛の淵
津屋崎 熊本 集
神鈴の鐘き若菜の勅使館

大 井 吉田ますみ
手垢の子の睡る着の汽車



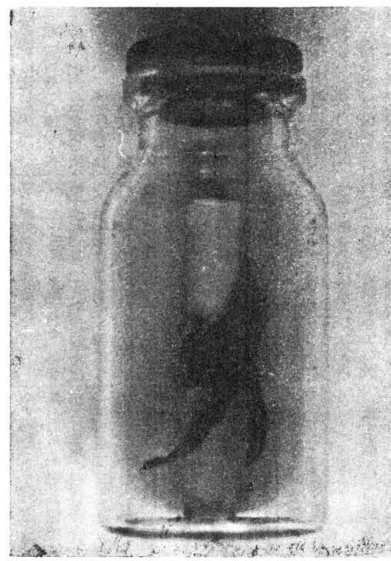
第二五回 宗像大社 歌会詠草

大 井 吉田ますみ
春曉を自覚めてはし細やかに降
りて雨の音を聞けり
田 島 楠 理
彼岸すきた肌寒朝の雨まぼろ
に残る暎みの梅

浜の寄物

瓶の中の手紙

瓶の中については、一八一一年の新紙が入ったので記して置き
九回述べたが、その後いゝかた。



(32)

今年一月中旬、俳句「地平」
十五周年誌が九州門司区に

いししいただし

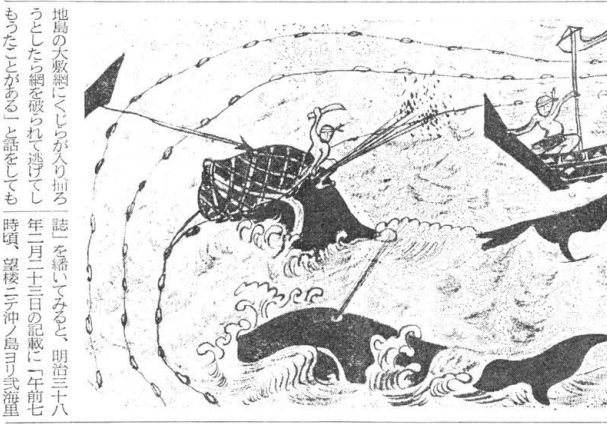
鐘崎民俗誌 その二十一

鐘崎民俗誌 その二十一
補本記

クジラとり

先住佐賀県博物館で「西海捕鯨展」が開催されたので見学した。小川島の近海捕鯨を中心とした西海鯨の歴史と民俗を紹介し、漁業の因連や、信託民俗行事を通じて日本人鯨との関わりあがんとコソにのみなみなくは焼であつた。多数の資料を自らあつた。数多い資料を自らあつた。数多い資料を自らあつた。...

魚市場売ったと云ふ、五〇〇円
で売れろと云う。残りはみんな
で分けて食へてしまつた。戦後も
外にあるまじかと思つた。戦後も



ある若州民館開會で聞かれ「
玄海の漂着物」といふ題で、時間
ほど話した。話が終つて、
つかりとめた。金庫で、
さういふお話を聞いた。三輪
中学生の思ふやうに、十数年前
瓶を捨て、その中に手紙が入つて
いた。手紙がイギリスのダ
リンからのものだった。それが家
にあるので、何か役に立つはずだ
と、それを盗んで来た。それは
非、それ見たくなり、送つても
三輪さんから小包が届いた。小
包をあけて、瓶の中の手紙は木
のわくを、板の中の手紙は、
れ、もう一枚のベニ板には、瓶
漂着を報じた朝日新聞の切り抜き
がはりつけてある。...

大島捕鯨資料 その八	
二月六日	雲 風強
二月七日	雲 風強
二月八日	雲 風強
二月九日	雲 風強
二月十日	雲 風強
二月十一日	雲 風強
二月十二日	雲 風強
二月十三日	雲 風強
二月十四日	雲 風強
二月十五日	雲 風強
二月十六日	雲 風強
二月十七日	雲 風強
二月十八日	雲 風強
二月十九日	雲 風強
二月二十日	雲 風強
二月二十一日	雲 風強
二月二十二日	雲 風強
二月二十三日	雲 風強
二月二十四日	雲 風強
二月二十五日	雲 風強
二月二十六日	雲 風強
二月二十七日	雲 風強
二月二十八日	雲 風強
二月二十九日	雲 風強
二月三十日	雲 風強

流れては、海を泳ぐのは思
われない。位置がみつても、思
前の捕鯨場の中間である。上
り鯨、下り鯨とも捕獲が辛う
く逃げた。鯨が途中で命を失
つてしまつた。

供の頃「親を兄貴が捕る時
に「サササ」の音で、鯨の
鳴いてくるのである。中尾基六
といふのは肥前小川島の鯨組の
主で初代が半生間か、鯨組を
以後、代基六を襲名し、業
し、代基六を襲名し、業

福島の郷土家として、新で
あつた。故郷松浦武敏が在り、
氏はそれについて、算用帳を所載
せられてゐる。...

明治十七年十一月
大島捕鯨社
議事録
一社員佐藤元丸左
佐藤貞三
安藤三三郎 高橋源次郎 大島弥
十郎 藤島仁郎
立石弥三郎
川内民作 目原市郎 斎村謙
三村茂樹
藤村三太郎
河野政右門 立石善太郎 藤田
仙作 佐藤貞作
船政清組
日原市郎 船政時次郎 船政伝平
河野市次郎 船政正入